

五月一日
送付
内務省
大蔵省

爵

立案 明治廿五年一日
次載 明治 年 月 日

局長
長
官

爵位長
主
勤務

大臣

内事課長

内事課次長

次官
官

陸軍歩兵大佐江上修善少将中村正隆
等十七名叙任一件

明治廿五年四月廿八日可五月廿日迄
通知記入三月三日官報録告済

裏面白紙

五月廿六日
送弟三七〇号
陸軍省

送分ニ七一号
大正三

送才五七二号

裏面白紙



陸軍歩兵大佐従五位勲三等功四級中村正雄
以下二百十五名叙位ノ件
右謹テ奏ス

明治三十六年四月二十八日

内閣總理大臣伯爵桂太郎

内

閣

明治廿六年四月廿七日

内閣書記官



内閣總理大臣

内閣書記官長

陸軍歩兵大佐從五位勲三等功四級中村正雄以下
二百十五名敘位進階内則第二條依り敘位
件

内閣

從五位勲三等功四級中村正雄

左 井上正永

左 勲四等功四級山本直徳

左 勲三等鶴田鹿吉

左 勲五等芳村晋

左 勲三等相原益功

左 勲四等福鑑芳隆

敘正五位

正六位 石田二男雄

左 勲六等 久保 敏樹

左 勲四等 西山 保之

左 勲五等功五級 蘆澤 正勝

左 勲四等 牧村 孝三郎

左 勲五等功五級 宮地 貞辰

左 勲五等功五級 木村 浩吉

左 勲五等功五級 但馬 惟孝

左 勲五等功五級 池中小次郎

左 勲五等功五級 松村 直臣

左 勲五等功五級 水谷 叔彦

正六位勲四等 山上 徹

左 勲五等 賀茂 嚴雄

左 勲五等 小山 哉

左 勲五等功五級 富田 慶二

左 勲五等功五級 中臺 順吉

敘從五位

從六位勲六等 杉 竹二郎

左 勲六等 柿寄 鈿太郎

左 勲六等 新莊 三郎

左 勲六等 大中 太一郎

五
十
三

10

叙正六位

正七位

小原新三

橘良協

木村良

小坂慶二

伊藤悌藏

小野常治

正七位勲六等

古城彌二郎

片岡久雄

春名頼

中山真琴

石坂專之介

吉田安喜

森重毅

本田龍助

但木良次

遠藤元良

左

生方一哉

左

木暮鉄太郎

左

丹羽久悠

左

左

左

左

左

左

左

左

左

左

左

左

左

左

左

左

12

左
左

和田八千穂

全
全

橫地君人

左
左

安藤米三郎

左
左

石坂眞次郎

左
左

三輪春吉

全
全

永島榮吉

今
今

内田小次郎

左
勳六等

白井賴吉

全
全

山田佐久

左
鮑五等

和田垣保造

正七位勲六等孟學博士

有改鋁藏

全

三宅藤一

全

遠藤謙真

今

澤柳友一郎

左
左

中山正嶺

左

安藤甲生

今

金井榮太郎

敘從六位

徒七位

猪木土彦

左
歟七等

柿沼鉉太郎

敘正七位

左 勲六等

加藤 恂一

左 有岡 甲三郎

左 鈴木 直清

左 古澤 義三郎

左 大島 闇二

左 川島 勝次郎

三村 三平

一野 邊省三

星野 一太郎

正八位

岸田 豊久

左 佐川 福太郎

左 児玉 義久

左 大山 綱任

左 神戸 豊

左 稲田 甫吉

左 山田 三郎

左 勲八等 米良 祥二

左 天野 雨石

左 坂田 隆太郎

小笠原酉三郎
岩井敬太郎
江寄定次郎
高木安太郎
長谷川道也
細谷朝次
清水孝藏
川副安一
青柳貞吉
浅井延次郎
内
雨森成悦
手塚敏郎
河村尚徳
井上謙作
境長三郎
久保惟修
蓼原三雄
千秋良平
荒木仙十郎
古莊虎雄

敘從七位

勲七等

林 茂

増永亨一

三浦倫吉

宇賀神啓

岡島銀次

萩 欽三

小阪 拓次郎

渡部 豊

浅井熊作

内 関

三井榮次郎

加藤官吉

田中八作

敘正八位

位第三 四號

陸軍歩兵大佐中村正雄以下十二名進位之件進達ス

明治三十六年三月三十一日

陸軍大臣寺内正毅



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

陸軍省

裏面白紙

別紙陸軍歩兵大佐中村正雄以下十二名現任ニ叙セラレ以テ
五年以上勤務不貳候付文武官叙任進階内則第二條ニ依
各位一級ヲ進メラレ度
謹テ奏ス

明治三十六年三月三十一日

陸軍大臣寺内正毅



陸軍省

正五位

明
詔
三
十
一
年
三
月
三
十
日
敘
從
五
位

五年陸軍步兵大佐從五位勳三等功四級中村正雄

五

左 左

五年陸軍步兵中佐從五位勳三等井上正永

從五位

欽
正
六
伍

五年陸軍步兵中佐正六位勲四等西山保之

左

明
弘治
三十
年三
月三
十日

五年陸軍工兵中佐正六位勲五等功五級
蘆澤正勝

正六位

敘左
從六
位

五年陸軍三等軍医正六位勲三等功五級 山野新太郎

左

台台

五年陸軍三等軍醫正從六位勲四等 新井松之助

五

左左

五年陸軍三等軍醫正從六位勳五等土屋淳水

從六位

散
正
七
伍

五年陸軍歩兵大尉正七位勲五等吉田爲次郎

合

左左

五年陸軍歩兵大尉正七位勲六等 江上喜三郎

左

左左

五年陸軍一等軍吏正七位勲五等大橋次郎太

石

左左

五年陸軍一等軍吏正七位勲五等村瀨摘太郎

左

明治三十年十二月十七日

五年陸軍一等軍醫正七位勲五等小原方雄

陵軍省

内閣總理大臣秘書官從六位數等杉竹二郎

卅六年三月十八日南寺官四等

貴族院書記官正七位 小原新三

卅六年三月廿五日南寺官五等

全 從七位 猪木土彦

全 南寺官六等

内閣

内務省
第一〇二號

別紙 小笠原 百三郎外一名 敘位ノ件
上奏書進達ス

明治三十六年三月十八日

内務大臣男爵内海忠勝

内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿



内務省

裏面白紙

從七位

三十九年二月十八日
任島根縣技師

(七等官)

小笠原酉三郎

正八位

三十九年二月十八日
任大坂府警視

(八等官)

勲七等萩 欽三

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書ノ通敘位

ニシテ度謹テ奏ス

明治三十九年三月十八日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

内務大臣
官房
臺印第二七號

別紙臺灣總督府海事官三村三平敘任
件上奏書進達ス
明治三十六年三月十九日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

内務省

裏面白紙

正七位

明治三十六年二月十四日

任臺灣總督府海事官

(六等官)

三村三平

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通敘位
セラレ度謹テ奏ス

明治三十六年三月十四日

臺灣總督男爵兒玉源太郎



大官房 甲第一〇二號

別紙 石田二郎雄外八名 敘位ノ件
上奏書進達ス

明治三十六年三月廿日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

27 1/2

從五位 卅三年九月十日 任京都府技師 敘正六位 卅三年二月十五日 任長野縣技師 卅四年四月十九日 任敘高等官三等 (四等官) 正六位 石田二男雄	正六位 卅四年九月十日 任京都府技師 敘正六位 卅四年二月十五日 任長野縣技師 卅五年二月十五日 任敘高等官四等 (五等官) 從六位 柿崎銘太郎	從六位 卅五年四月十日 任京都府技師 敘正七位 卅五年二月十五日 任長野縣技師 卅六年二月十五日 任敘高等官五等 (六等官) 正七位 橋 協	從六位 卅六年四月十日 任京都府技師 敘正七位 卅六年二月十五日 任長野縣技師 卅七年二月十五日 任敘高等官五等 (七等官) 正七位 木村 良	從六位 卅七年四月十日 任京都府技師 敘正七位 卅七年二月十五日 任長野縣技師 卅八年二月十五日 任敘高等官五等 (八等官) 正七位 小坂慶二	從六位 卅八年四月十日 任京都府技師 敘正七位 卅八年二月十五日 任長野縣技師 卅九年二月十五日 任敘高等官五等 (九等官) 正七位 伊藤悌藏	從七位 卅九年四月十日 任京都府技師 敘正八位 卅九年二月十五日 任長野縣技師 卅四年二月十五日 任敘高等官七等 (十等官) 正八位 岸田豐久	從七位 卅四年四月十日 任京都府技師 敘正八位 卅四年二月十五日 任長野縣技師 卅五年二月十五日 任敘高等官七等 (十一等官) 正八位 佐川福太郎	從七位 卅五年四月十日 任京都府技師 敘正八位 卅五年二月十五日 任長野縣技師 卅六年二月十五日 任敘高等官七等 (十二等官) 正八位 児玉義久	右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書ノ通位 一級進ノ度謹テ奏ス
---	---	---	--	--	--	--	--	---	--

明治三十六年三月廿日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

大官房 甲第一〇三號

別紙 小野 常治 敘任 〆件
上奏書進達ス

明治三十六年三月廿日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

29

從六位

廿三年三月十日
任秋田縣技師
廿三年二月十八日
欽正七位

廿三年二月十八日
任秋田縣技師
廿三年二月十八日
欽高等官五等

正七位 小野常治

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通位一級進

ノラレ度謹テ奏ス

明治三十六年三月廿日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

海軍大臣 甲第一二六號

別紙 古城彌二郎 敘位

上奏書進達ス

ノ件

明治三十六年三月卅日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

豆

從六位

世年三月廿日
叙正七位

滿五年以上

熊本縣代郡長正位勲三等藏納郎

右多年奉職勤勞不尠者付敘位進階内則第二條

ニ依リ頭書通位一級進メ度謹テ奏ス

明治三十六年三月三十日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

別紙片岡久雄外二名 叙位

上奏書進達ス

明治三十六年三月卅日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

從六位

廿三年三月廿日
叙正七位

滿五年以上

愛知縣島郡長宅位勲六等

片岡久雄

從六位

廿三年三月廿日
叙正七位

滿五年以上

愛知縣知多郡長宅位勲六等 春名 頼

從六位

廿三年三月廿日
叙正七位

滿五年以上

愛知縣寶飯郡長宅位勲六等 中山 真琴

右多年奉職勤勞不尠者付叙位進階内則第二條依
各頭書通位一級進ノレ度謹テ奏ス

明治三十六年三月廿日

内務省

内務大臣男爵内海忠勝



裏面白紙

別紙 石坂專之介外一名 敏任 〆件
上奏書進達ス

明治三十六年三月廿日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

從六位世年三月廿日 欽正七位 滿年以上 富山縣上新川郡長正七位勲六等石坂專之介

從六位世年三月廿日 欽正七位 滿年以上 富山縣射水郡長正七位勲六等吉田安喜

右多年奉職勤勞不尠者付欽位進階内則第二條ニ依リ各頭書通位一級進メラレ度謹テ奏ス

明治三十六年三月廿日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

裏面白紙

内務省 甲第一三〇號

別紙 森重毅外五名叙位 〆件

上奏書進達文

明治三十九年四月二日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

從六位 世系三月廿日 欽正七位 滿五年以上 群馬縣山田郡長正七位勲六等 森重 毅

從六位 世系三月廿日 欽正七位 滿五年以上 靜岡縣賀茂郡長正七位勲六等 本田 龍助

從六位 世系三月廿日 欽正七位 滿五年以上 宮城縣黒川郡長正七位勲六等 但木 良次

從六位 世系三月廿日 欽正七位 滿五年以上 宮城縣桃生郡長正七位勲六等 遠藤 元良

從六位 世系三月廿日 欽正七位 滿五年以上 岡山縣加氣郡長正七位勲六等 藤村 英輔

内務省

從六位 世系三月廿日 欽正七位 滿五年以上 愛媛縣越智郡長正七位勲六等 小松崎 吉郎

右多年奉職勤勞不貳者付欽位進階内則
第二條ニ依り各頭書ノ通位一級進メラレ度謹テ
奏ス

明治三十六年四月二日

内務大臣男爵内海忠勝



明治三十一年四月四日

別紙 向日保雄外一名敘位
上奏書進達
明治三十一年四月四日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

豆

從六位 廿年三月廿日 叙正七位 滿五年以上 大坂府東成郡長安位勲六等 向日保雄

從六位 廿年三月廿日 叙正七位 滿五年以上 大坂府東成郡長安位勲六等 岸正形

右多年奉職勤勞不尠者付叙位進階内則第二條に依り各頭書通位一級進メラレ度謹テ奏ス

明治廿六年四月四日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

裏面白紙

別紙小阪拓次郎外二名 叙位ノ件
上奏書進達ス

明治三十六年四月四日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

正八位

三十九年二月十五日
任北海通應技師

(八等官)

小阪拓次郎

正八位

三十九年三月三日
任宮崎縣技師

(八等官)

渡部 豊

正八位

三十九年三月三日
任宮崎縣技師

(八等官)

浅井熊作

右叙位進階内則第二條ニ依リ各頭書ノ通叙位

セリ度謹テ奏ス

明治三十九年四月四日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

めくれず

裏面白紙

内務大臣第一三四號

別紙 鈴木武太郎外七名 叙位
上奏書進達ス

明治三十六年四月廿日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

後七位 廿五年九月十日 任群馬縣技師 廿五年三月五日 任教高等官七等 (七等官) 五位勲六等 鈴木武太郎		正七位 廿五年六月十日 任長崎縣技師 廿五年三月五日 任教高等官六等 (七等官) 後七位 有岡田三郎		正七位 廿五年五月十日 任福島縣相馬郡長 廿五年三月五日 任教高等官六等 (七等官) 後七位 鈴木直清		後七位 廿五年五月十日 任新潟縣三島郡長 廿五年三月五日 任教高等官七等 (八等官) 心八位 神戸豊		後七位 廿五年五月十日 任新潟縣東頸城郡長 廿五年三月五日 任教高等官七等 (八等官) 心八位 稲田甫吉		後七位 廿五年五月十日 任福島縣技師 廿五年三月五日 任教高等官七等 (八等官) 心八位 山田三郎		後七位 廿五年五月十日 任廣島縣警視 廿五年三月五日 任教高等官七等 (八等官) 心八位勲八等 米良祥二		後七位 廿五年五月十日 任廣島縣高田郡長 廿五年三月五日 任教高等官七等 (八等官) 心八位勲八等 天野雨石		右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書ノ通位一級進メラ レ度謹テ奏ス 明治三十六年四月六日 内務大臣男爵内海忠勝	
---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	--

裏面白紙

45

内務省大
臣官房
甲第一三五號

別紙 新莊三郎 敬位

上奏書進達

明治三十六年四月之日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

欽差大臣 乾隆六年三月三日

新莊三郎

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書ノ通位
一級進メラレ度謹テ奏ス

明治三十六年四月之月

內務大臣男爵內海忠勝

內務省

内務省第一四一號

別紙柿沼鉉太郎外二名敘位
上奏書進達ス
ノ件

明治三十六年四月七日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

内務省

裏面白紙

正七位

四年六月十日
叙進七位

四年二月廿二日
任京都府紀伊郡長

(七等官)

從七位勳七等柿沼鉉太郎

正七位

四年六月十日
叙進七位

四年十二月廿七日
任廣島縣安佐郡長

(七等官)

從七位勳六等加藤内一

從七位

五年九月二十日
叙進八位

五年二月廿六日
任廣島縣伊佐郡長

(七等官)

正六位 大山綱任

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書ノ通位一級進ノ度謹テ奏ス

明治三十六年四月七日

内務省

内務大臣男爵内海忠勝



裏面白紙

内務大臣
臺田第四五號

別紙臺灣總督府税關鑑定官三井榮次
郎叙位、件上奏書進達ス

明治三十六年四月十一日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

内務省

正八位

明治三十六年三月九日

任臺灣總督府稅關鑑定官（八等官）

三井榮次郎

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通敘位
セラレ度謹テ奏ス

明治三十六年四月九日

臺灣總督男爵兒玉源太郎



臺灣總督府

臣官房 臺甲第四七號

別紙臺灣總督府專賣局技師大中太郎
敘位進階ノ件上奏書進達ス

明治三十六年四月十一日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

内務省

裏面白紙

正六位

明治三十二年六月二十日

叙從六位

明治三十四年六月一日
任臺灣總督府專賣局技師(五等官)

明治三十六年二月十一日
陞叙高等官四等

從六位勲六等大中太一郎

續

右叙位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通位一

級進メラレ度謹テ奏ス

明治三十六年四月十一日

臺灣總督男爵兒玉源太郎



臺灣總督府

正六位

明治三十二年六月二十日

叙從六位

明治三十四年六月一日
任臺灣總督府專賣局技師(五等官)

明治三十六年二月十一日
陞叙高等官四等

從六位勲六等大中

右叙位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通位一

級進メラレ度謹テ奏ス

明治三十六年四月十一日

臺灣總督男爵兒玉源太郎



臺灣總督府

内務大臣
官署
甲第 四九 號

別紙 久保敏樹 外三名 叙位
上奏書進達ス
ノ件

明治三十一年 四月十三日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

從五位

廿六年四月三十日
任山形縣書記官
敘正六位

廿六年三月十日
敘高等官三等
廿一年六月廿九日

正六位勲六等久保敏樹

正六位

廿四年六月十日
任山形縣技師
敘正六位

廿五年三月廿六日
任和歌山縣書記官
廿六年三月十三日
敘高等官四等

(正等官)

從六位

堀尾鑑作

正六位

廿九年四月三十日
任和歌山縣書記官
敘正六位

廿五年七月七日
任山形縣技師
廿六年三月十三日
敘高等官四等

(正等官)

從六位勲六等樺山喜平次

正七位

廿四年六月十日
任山形縣技師
敘正七位

廿五年七月七日
任山形縣技師
廿六年三月十三日
敘高等官六等

(正等官)

從七位

古澤義三郎

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書ノ通位

内務省

一級進ノ度謹テ奏ス

明治三十六年四月十三日

内務大臣男爵内海忠勝



裏面白紙

内務省 田第一五〇號

別紙 一野邊省三外三名敬使ノ件
上奏書進達ス

明治三十一年 四月十三日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

正七位	三十九年三月十日 任島根縣技師	(次等官)	一野邊省三
從七位	三十九年三月十日 任警視	(七等官)	岩井敬太郎
正八位	三十九年三月十日 任神奈川縣警視	(八等官)	加藤官吉
正八位	三十九年三月九日 任兵庫縣警視	(八等官)	田中八作

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書ノ通敘
位_{セラレ}度謹テ奏ス

明治三十六年四月十三日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

御前奉書 二九一

一 位階 進級上奏

一 件

右口執奏方可然口取計お成事也
明正三十一日

大花左大臣男爵會禰荒地



西園総経右大臣桂太中殿

人 燕 省

裏面白紙

造幣局技師正七位勲五等川浪席太郎
右官等相當位ヲ有シ滿五年ヲ經過シ
勲勞顯著ニ付位階進級相成度謹
上奏ス

明治三十六年四月七日

大藏大臣男爵曾禰荒助



大藏省

進階

從六位

明治三十年三月廿五日
叙正七位

五年以上

造幣局技師正七位勲五等川浪虎太郎

大藏省

位第三二號

陸軍歩兵大尉川久保才二叙位之件ヲ進達ス

明治三十六年三月三十一日

陸軍大臣寺内正毅



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

陸軍省

裏面白紙

從六位

陸軍歩兵大尉正五位勲五等川久保才二

右明治三十年三月十五日現任：叙_レ以來五年以上勤務不_レ怠
候_ニ付文武官叙位進階内則第三條依_リ位一級進_メ度
謹_テ奏_ス

明治三十六年三月三十一日

陸軍大臣 寺内正毅

陸軍省

位第三 三號

陸軍歩兵中佐大井菊太郎以下四名叙位之件ヲ進達ス

明治三十六年三月三十一日

陸軍大臣寺内正毅

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

陸軍省

裏面白紙

別紙陸軍歩兵中佐大井菊太郎以下四名文武官叙位進階
内則第二條ニ該當候ニ付相當位ニ叙セラル度
謹テ奏ス

明治三十六年三月三十一日

陸軍大臣寺内正毅



陸軍省

正六位	明治三十八年二月二十五日 任陸軍歩兵中佐	從六位勲四等功五級	大井菊太郎
從六位	全 任陸軍歩兵少佐	正七位勲五等功五級	中島正武
全	全	正七位勲五等	鈴木朝資
正七位	明治三十八年二月二十六日 任陸軍憲兵大尉	從七位勲六等	大島閏二

陸軍省

位第三之就

陸軍歩兵中尉坂田隆太郎叙位之件ヲ進達ス

明治三十六年三月三十一日

陸軍大臣寺内正毅



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

陸軍省

裏面白紙

別紙陸軍歩兵中尉坂田隆太郎文武官叙位進階内則
第二條ニ該當候ニ付相當位ニ叙セラル度
謹テ奏ス

明治三十六年三月三十一日

陸軍大臣 寺内正毅



陸軍省

從七位

明治三十四年三月三日
任陸軍歩兵中尉

正八位

坂田隆太郎

明治三十四年三月三日休職
明治三十六年一月十五日就職

陸軍省

海軍技師星野一太郎叙位、件

文武官叙位進階内則第二條、依別紙上奏書進達ス

明治三十六年三月十九日

海軍大臣男爵山本権兵衛



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

海軍

正七位
右頭書ノ通叙位セラレ度謹テ
星野一太郎

明治三十六年三月十九日

海軍大臣男爵山本権兵衛



海軍

山本海軍機関大監以下七十三名叙位ノ件
文武官叙位進階内則第二條二項ニ依リ別
紙上奏書進達ス

明治三十六年三月二十一日

海軍大臣男爵山本權兵衛



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

海軍

[illegible][illegible]

[illegible]

正五位
正六位
從五位
從六位
明應二年三月廿一日
明應二年三月廿一日

正大位
明正年三月廿一日

[illegible]

裏面白紙

司法省職壹第六四二號上奏
右執奏有之度候也

是件

明治三十六年四月二日

司法大臣 中島久



内閣總理大臣 伊藤 桂太郎 敬

高等官進位之儀ニ付上奏
依テ文官武官叙位進階内則第ニ條ニ
依リ謹ニ奏ス

明治三十八年四月二日

司法大臣男爵清浦奎吉



司法省

裏面白紙

司法省職壹第六四三號上奏
右執奏有之度候也

志件

明治三十六年四月四日

司法大臣男爵清浦奎之



内閣總理大臣伯爵桂太郎 叙

司法省 第六三號

從七位

明治卅六年二月廿日

高等官初敘位之儀

判事

江崎

高木

安太

郎

全

全

全

全

全

長谷

朝道

次

郎

全

全

全

全

全

細谷

孝藏

一

郎

全

全

全

判事

川副

安

孝藏

一

郎

全

全

全

判事

清柳

真

告

郎

全

全

全

判事

青柳

延次

郎

全

全

全

判事

雨森

敏

郎

郎

郎

全

全

全

判事

手塚

尚

郎

郎

郎

從七位

明治卅六年二月廿日

判事

井上

謙

郎

郎

郎

郎

全

全

全

判事

久保

三

郎

郎

郎

全

全

全

判事

蓼原

三

郎

郎

郎

全

全

全

判事

千秋

良

郎

郎

郎

全

全

全

判事

荒木

仙

郎

郎

郎

全

全

全

判事

古莊

虎

郎

郎

郎

全

全

全

判事

増永

亨

郎

郎

郎

全

全

全

判事

三浦

倫

郎

郎

郎

全

全

全

判事

宇賀

神

郎

郎

郎

全

全

全

判事

則第

二

郎

郎

郎

全

全

全

判事

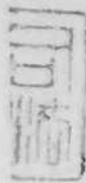
則第

二

郎

郎

郎



謹

文武官敘位進階内則第

二

郎

郎

郎

郎

郎

郎

明治三十六年四月四日

明治三十六年四月四日

司法大臣男爵清浦奎吉



司法省

閣下三號

蚕業講習所技師川島勝次郎叙位ノ件別紙上
奏書進連ス

明治三十六年三月廿六日

農商務大臣男爵平田東助



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

農商務省

叙正七位
右謹テ奏ス

明治三十六年二月廿七日
陸奥高寺官六等

蚕業講習所技師徒七位 川島勝次郎

明治三十六年三月廿六日

農商務大臣男爵平田東助



農商務省

附録五

蚕業講習所技師富島銀次叙位ノ件別紙上奏
書進連ス

明治三十六年四月二日

農商務大臣男爵平田東助



内閣總理大臣男爵桂 太郎殿

農商務省

叙從七位

明治三十五年三月五日
任養業講習所技師 叙高等官七等

岡島銀次

右謹テ奏ス

明治三十六年四月二日

農商務大臣男爵平田東助



農商務省

九

臺澎總督府專賣局技師大
中
太一郎 欽位進階之儀本月十一
日上奏相成總督府申越於案
可然亦取計相成度此飯及通
牒也

明治卅六年四月三十日

内務大臣秘書官

官印

内閣書記官

官印

内務省

左記三名ハ本年三月廿一日付海軍秘人第
 六二號 山幸海軍機關大監以下七
 十三名ノ公ヲ以テ敘位ノ件ニ上奏
 相成民衆要知各頭主ノ通一本月十六
 勲等陞叙相成民衆要知各頭主ノ通一本月十六
 相成度林段及中照ノ家也
 明治三十八年五月十八日
 海軍大臣山幸三侯宗右郎

内閣書記官

下

勲四等
 勲五等
 合

海軍中佐松村直臣
 海軍造船大技士白井頼吉
 合 山田佐久